



# リスクアセスメントの取り組み／労使一体での安全健康活動



## ＜リスクアセスメント(RA)の取り組み＞

従来は労働災害が発生した際に重大災害（死亡・障害）につながる可能性がある**7つのリスク**（※下表A～G）に的を絞って取り組んでいましたが、2013年にさらに8つのリスク（※下表H～O）を評価対象に加えることでより網羅性を高めた取り組みにしてきました。

また同時期に立ち上げた**リスク評価者教育**を、設備や製造に関わる従業員を中心に毎年約300人以上が受講し、幅広い**人財育成**を推進しています。RAは特別な活動ではなく、日常の安全活動を進めるためのツールと位置づけ、日々の安全観察や改善活動などと絡めながら日進月歩で安心量の積み上げに取り組んでいます。

## ＜労使一体での安全健康活動＞

労働安全衛生については労使で密にコミュニケーションを図りながら労働災害や業務上疾病の未然防止に取り組んでいます。

毎月の安全衛生委員会は、全社の安全や健康に関する取り組みなどについて、労使で意見交換しながら活動を推進。熱中症予防の観点でのイオン飲料の格安価格での提供や、7月の安全月間に行う安全標語募集など、労使一体で安全健康活動に取り組んでいます。

評価対象リスク	
A:動力による挟まれ	H:化学物質・粉塵の吸入
B:重量物との接触	I:化学物質の接触
C:車両との接触	J:眼内異物
D:墜落・転落	K:ワーク等での切創
E:感電	L:ワーク等での挟む・ぶつける
F:高熱物との接触	M:歩行・通行中のケガ
G:酸素欠乏	N:電離放射線・レーザー溶接による紫外線
	O:騒音



A:動力による挟まれ



B:重量物との接触



C:車両との接触



D:墜落・転落



E:感電



F:高熱物との接触



G:酸素欠乏